

平成 19 年 7 月 30 日

### 3 号機原子炉建屋付属棟における油漏れについて

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所 3 号機は定格熱出力一定運転中ですが、平成 19 年 7 月 27 日午後 5 時 30 分頃、原子炉建屋付属棟 1 階の高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機\*<sup>1</sup> 用燃料タンク室（非管理区域）において、燃料タンク入口弁から油がにじみ出て床に溜まっている（約 2 ミリリットル）ことを当社社員が確認するとともに、午後 5 時 55 分頃、消防本部へ連絡しましたのでお知らせします。

調査の結果、放射能は検出されず、漏れた油は拭き取りにより処理しました。

燃料タンク入口弁グランド部\*<sup>2</sup> から油がにじみ出ていることが確認されたことから、当該グランド部の締め付け用ナットを増し締めしたところ、油のにじみが停止しました。

これによる外部への放射能の影響はありません。

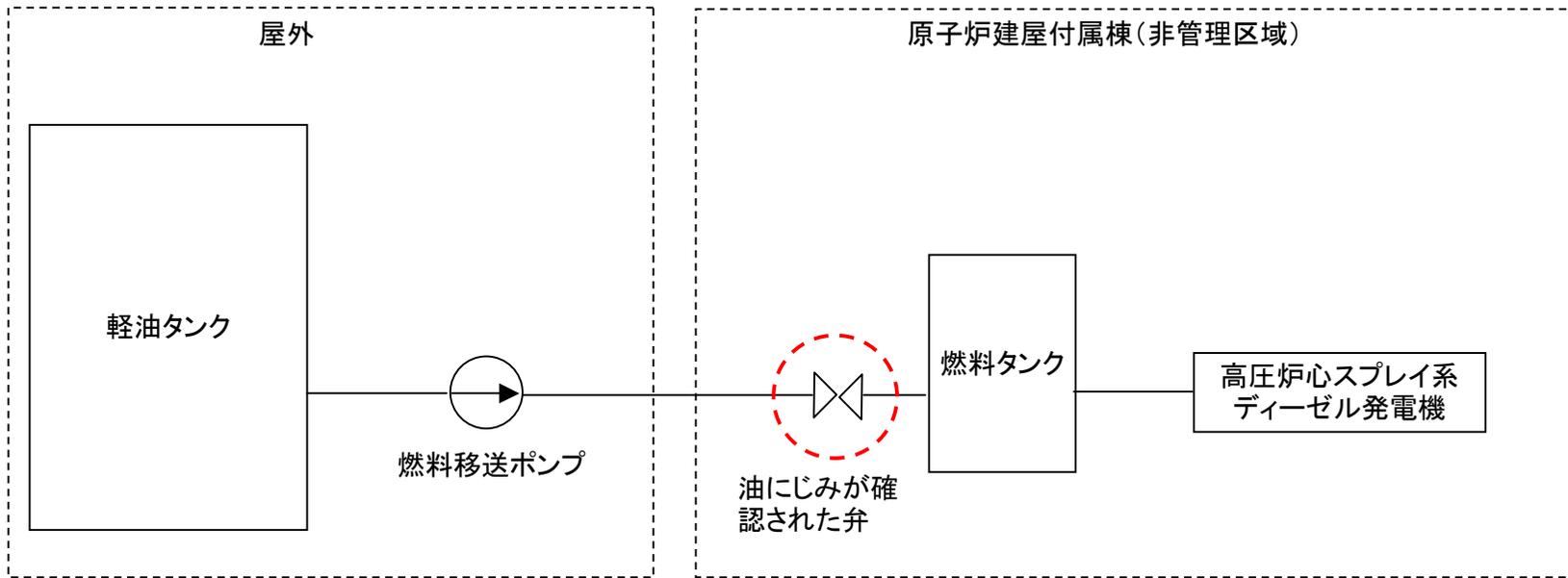
以 上

\* 1 : 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機

高圧炉心スプレイ系は非常用炉心冷却系の 1 つで、原子炉水位が異常に低下した場合に、原子炉内に水を補給するための設備であり、ディーゼル発電機はその系統のポンプ等に電源を供給する発電機。

\* 2 : 燃料タンク入口弁グランド部

入口弁を構成している弁棒と弁箱との隙間にパッキンを設置し、外に油が漏れでないようにしている部分。



高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機用燃料移送系統概略図